

テーマ：困難に直面する中、私たちに確信を与えてくれる真理とはどのようなものか？

●マルティン・ルター

「私は一週間以上にわたり、死と地獄を行ったり来たりしている。全身が打ちのめされたように痛み、手足は今も震えている。絶望、神に対する冒涇の波と嵐の中で苦闘し、私はキリストを完全に失いかけてしまった。」

「神はわがやぐら わが強き盾 苦しめる時の 近き助けぞ おのが力 おのが知恵を 頼みとせる 陰府の長も など 恐るべき」(讚美歌 267)

○ともにいてくださる主：困難の中で確信を与える三つの真理

1. 主は\_\_\_\_\_を持ったお方(1-3)

▶「避け所」

▶「力」

※出エジプト記 15:1-2

「主に向かって私は歌おう。主は輝かしくも勝利を取められ、馬と乗り手とを海の中に投げ込まれたゆえに。主は、私の力であり、ほめ歌である。主は、私の救いとなられた。この方こそ、わが神。私はこの方をほめたたえる。私の父の神。この方を私はあがめる。」

▶「助け」(直訳：彼は苦しみの中で、豊かに(溢れんばかり)見出される助け)

「現代の読者は、助け手を地位の低い人や重要な人物の補佐役のように考える傾向があつたりします。しかし、この詩篇が主を助け手として描いているのには、遥かに深い意味があります。基本的に、この言葉は、誰かが欠いているものを与えること、またはその人自身にはできないことをしてあげること

を指しているのです。」(アレン・ロス)

「(最初の死の衝撃で)最も頼りになると思われていた全てのものが崩れ去ってしまいました。山々は崩れ落ち、地が揺れ動いています。そんな時、全てのものが揺らいでいるように見えても、ただ一つだけ揺らぐことのないものがあると知っているのは深い慰めです。神は揺るぐことはありません。」(エリザベス・エリオット)

※詩篇 102:25-27

「あなたははるか以前に地の基を据えられました。天も、あなたの御手のわざです。これらのものは滅びるでしょう。しかし、あなたはながえられます。すべてのものは衣のようにすり切れます。あなたが着物のようになり替えられると、それらは変わってしまいます。しかし、あなたは変わることがなく、あなたの年は尽きることがありません。」

2. 主は\_\_\_\_\_お方(4-7)

▶「川」

▶「夜明け前」

※哀歌 3:22-24

「私たちが滅びうせなかったのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ。それは朝ごとに新しい。「あなたの真実は力強い。主こそ、私の受ける分です」と私のたましいは言う。それゆえ、私は主を待ち望む。」

3. 主は\_\_\_\_\_お方(8-11)

※ダニエル 4:34-35

「…その主権は永遠の主権。その国は代々限りなく続く。地に住むものはみな、無きものとみなされる。彼は、天の軍勢も、地に住むものも、みこころのままにあしらう。御手を差し押さえて、「あなたは何をされるのか」と言う者もない。」

▶「やめよ」

「我らの神は救いをもたらす神であり、我らが死から逃れるのは神である主による。」(マルティン・ルター)